

「活車えび」の出荷が始まりました！

令和7年11月5日(水)に、深江町漁業協同組合組合長と職員が南島原市役所を訪れ、「活車えび」の初出荷を報告しました。

7月に、鹿児島から届いた稚エビを、養殖場に放流したところ、4カ月間で1尾17cm、約26gと昨年よりも大きく育っています。今年の夏も35度以上の真夏日が多く、夜になっても養殖場内の水温が下がらない日もあります。また、夜行性の車えびが活動することにより、水の中の酸素を多く使うため濃度が低くなります。このため、ICT技術を活用し1時間おきに水温や酸素、塩分濃度などを正確に確認しています。

手間暇かけたことにより、身がプリプリとし甘みがあり、刺身でも塩茹でしても美味しいいただけます。愛情込めて育てた活車エビを、全国の皆さんへお届けできることが楽しみです。



出荷報告の様子



活車エビ



左から苑田農林水産部長、松本市長



左から吉田組合長、漁協職員の中村、岩永、大山



活車エビの刺身



活車エビの塩茹で